



第1会場●2F 第4研修室

■司 会／荒川登志子(福岡県) 古賀市役所健康づくり課健康運動指導士
田中 崇詞(鳥取県) 米子市教育委員会事務局生涯学習課社会教育主事

1 子育てを支援するサイト「ふくおか子育てパーク」

—IT を活用した次世代型家庭教育支援事業—

榎原 理香(福岡県篠栗町) 福岡県立社会教育総合センター 家庭教育相談員

携帯電話やパソコンを使って、いつでもどこでも子育て中の親がアクセスし活用できるWEBサイト。学びを支援する「WEB講座」や、グループ、イベント等の各種情報提供を行うほか、ブログや掲示板の機能を活かした双方向のやりとりで、読者同士の交流や情報交換が行える楽しいコーナーをたくさん設置している。また、先輩ママが答えるメール相談コーナーを設けたことは、気になることを気軽に聞いて不安をやわらげることにつながっている。行政が運営するサイトの可能性をここまで広げられるかを探りながら、より多くの親たちが充実した子育てをするために活用してもらえるよう、常に進化し続けるサイトを目指している。

2 子どもの居場所・高齢者の活動舞台の創造

—少子高齢化、過疎、環境の荒廃を見据えたまちづくり—

田中 時子(山口県岩国市美和町) 地域支援ネット「かぜ」事務局長

グループ活動を初めて11年目。事業は「地域支援ネット『かぜ』」、ミワ遊び塾、錦川ネイチャーゲームの会など発表者が所属する複数の団体が関わっている。子どもの居場所の確保を目的としながら、環境を問い合わせ、過疎を問い合わせ、高齢者の活躍の舞台を作り出そうと工夫を続けてきた。歴史の伝承、文化活動の継承、キャンプ、野外活動、郷土料理指導などを手がけてきている。過疎の町を前提としながら「幼と老の共生」は少しずつ実現できている。

3 学・福連携、学・社連携による地域総ぐるみの「協育」の輪

—学童保育とつなぎ、学校を開放し、ジュニアリーダーや熟年を生かした通年の体験活動プログラム—

都甲 秀幸(大分県杵築市) 杵築市教育委員会・杵築中央公民館社会教育主事

合併前の旧山香町を対象とし、平成14年に着手された公民館、NPO、社会教育関係団体等をつないだ総合的子育て支援の「協育」構想。年間を通じた活動でプログラムの作成はNPO や旧山香町の地区公民館運営協議会が中心となっている。また、長期休暇中には毎日学校施設を開放し、地域のニーズに対応している。山香の子どもたちの参加率はほぼ100パーセントである。

4 総括討論